

御嶽社 横浜市青葉区元石川町 3776

住宅地に囲まれて鳥居があり興味をもってお参りをしようと訪問した。小粒だが歴史のある地元の神社で、本殿に説明書が貼ってあり、それによると、この社が記録に登場するのは寛文11年(1671年)で3百数十年にわたり氏子、村民から篤い崇敬を持たれた当地の鎮守とある。また、この社の番地は富士山の高さ(3776m)と同じともあった。

創建年代等是不詳ながら、石川村に八社ある社の一つとして「御嶽社ニヶ所。共に西の方にあり東に向う、除地、一は一畝五歩、又一は一畝十二歩なり」と記載されています(新編武蔵風土記稿)。ご祭神は日本武尊で往古より当地村民の信仰の中心となって祭祀を続けて来た。(「神奈川県神社誌」より)



住宅地に囲まれて鳥居がある



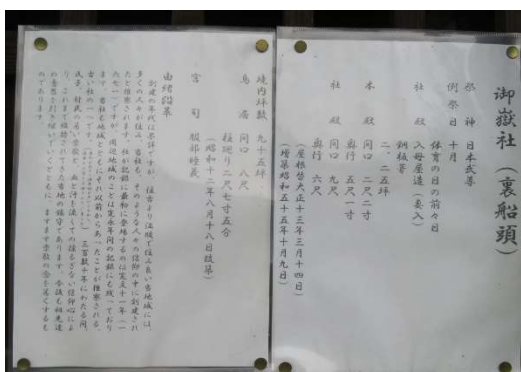
歴史を感じる額であった



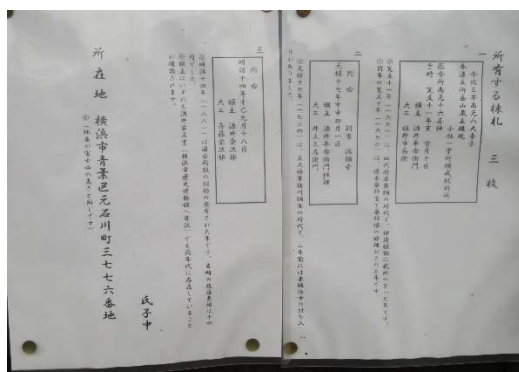
参道の横は住宅地



社殿は小粒で説明書が貼ってあった



説明書①



説明書②